

# 主体的に学習に取り組む児童の育成 ～ICT機器を活用した授業づくりを通して～

## 第5回研究全体会（第四回研究授業）

体育科 単元名 器械運動「跳び箱運動」

日時 令和3年12月15日(水)

研究授業 (3-2) 体育

指導者 吉田 亮平教諭

主体的に学習に取り組む姿（中学年分科会）

自分の課題に気づき、解決に向けた解決方法に気づける子

3年生は、授業支援クラウド「ロイロノート」の動画機能を使い、「自分の跳び方を見て、自分の課題を見付ける」という学習をしました。開脚跳びのポイントについては、師範映像※を見て、

- ・両足で強く踏み切る「ドン」
- ・跳び箱の奥に、両手をつく「バン」
- ・手で、強く突き放して両足で着地「ピタ」

と確認しました。友達の開脚跳びを撮影し、お互いにポイントとの違いを見付けて、教え合い練習する姿が見られました。



「ドン」の踏切撮影担当、「バン」の着手撮影担当、「ピタ」の着地撮影担当で分かれました。

「腰をもっとあげたほうがいいよね。」  
「なんか勢いがたりないな。」  
友達からアドバイスをもらったり、自分で映像を見て気付いたりすることができました。

最後は、自分がどんな課題を見つけたかについて、発表しました。みんなでロイロノートの動画を見て、課題を共有しました。学習カードで今日の学習を振り返り、次の学習のめあてをもった子がたくさんいました。

※NHKforSchool「はりきり体育ノ介」

